

2022年9月7日

国連グローバル・コンパクトに署名

日立造船株式会社は、世界最大のサステナビリティ イニシアチブである「国連グローバル・コンパクト（以下、UNGC）」に署名し、このほど参加登録されました。

また、UNGCの日本ローカルネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）」にも加入しました。

UNGCは、国連と民間（企業・団体）が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティ イニシアチブで、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための自発的な取り組みです。

UNGCに署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続しています。

WE SUPPORT



【UNGCの4分野10原則（出典：GCNJによる4分野10原則の解説）】

【人権】

原則 1： 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである

原則 2： 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

【労働】

原則 3： 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである

原則 4： 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである

原則 5： 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである

原則 6： 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

【環境】

原則 7： 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである

原則 8： 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである

原則 9： 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

【腐敗防止】

原則 10： 企業は、強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止に取り組むべきである

当社は、「私達は、技術と誠意で社会に役立つ価値を創造し、豊かな未来に貢献します」を企業理念とし、ごみ焼却・発電や水処理などの環境事業、精密機械や橋梁・水門などの機械・インフラ事業、風力発電・メタネーションなどの脱炭素化事業などを展開しています。

当社は昨年にはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）にも賛同を表明し、ESG経営を推進しておりますが、当社の企業理念・事業内容はUNGCやSDGsに合致するものであり、今後とも各事業の拡大・推進を通じて、豊かな未来に貢献していく所存です。

(終)